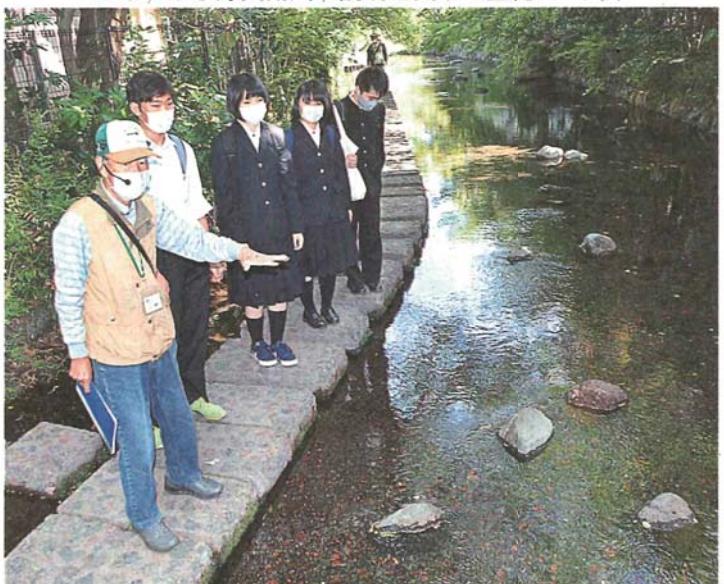


令和3年(2021年)4月24日(土曜日)

ガイドから源兵衛川の説明を受ける生徒=三島市



「コナ禍で下田高南伊豆分校

昨年12月に広島、大阪を修学旅行で訪れる予定だった下田高南伊豆分校は、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて行き先を変更し、3年生13人が22、23の両日、三島市を訪れて「水の都」と呼ばれる同市のまちづくりについて学んだ。

「水の都」三島に修学旅行

22日夜はNPO法人グラ

ウンドワーク三島の渡辺豊博専務理事から講話を受けた。渡辺専務は市街地を流れる源兵衛川がかつて汚染され、地元住民らの努力で清流がよみがえった歴史を紹介。ふるさとの光と影の両方に目を向ける大切さを強調し、「高校生として地域にどんな貢献ができるか考えてほしい」と呼びかけた。23日は生徒が同NPOのガイドとともに市内を巡り、源兵衛川をはじめとする豊かな自然に触れた。山本悠斗さんは「水が本当にきれいで驚いた。以前は川が汚れていたというのが想像できない」と話した。

(三島支局・金野真仁)